

エリア構想※

北部グローカル構想

■地域資源を生かした職住一体型生活圏の構築による魅力ある暮らしの実現

整備が進展する京都舞鶴港や高速道路網等の基盤を最大限に生かし、海外に開かれた交流と、「誇れるふるさと」「住み続けられる地域づくり」「若者が戻ってくる地域づくり」をコンセプトに、京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会と連携し、新たな産業拠点の形成と職住一体型生活圏の構築を進めます。

【主要な取組】

- A I · I o T 等新技術による魅力ある職住一体型生活圏の構築
- ヘリ＆クルーズ等観光をベースとした新たな産業活性化の拠点づくり
- キャッシュレスモデルエリアの創設

日本海国土軸の形成
山陰近畿自動車道の早期整備の促進

大型クルーズ船の寄港増による対岸交流の
ゲートウェイ機能強化

京都舞鶴港、天橋立、舟屋の里、丹後郷土資料館、夕日ヶ浦等の観光拠点・
地域資源について広域周遊ネットワーク化(ヘリ&クルーズ観光)

京のブランド水産物の構築
体験型観光「漁観連携」

京都舞鶴港の整備
国際ふ頭Ⅱ期整備
第2ふ頭の岸壁整備
旅客ターミナル等整備
国道27号(西舞鶴道路)
臨港道路上安久線ほか

観光×ものづくり
丹後織物の拠点「TANGO OPEN CENTER(仮称)」整備
天橋立の世界遺産登録
地域活性化拠点づくり
宮津エネルギー研究所用地の活用
宿泊施設、ヘリポートの誘致・整備
丹後郷土資料館リニューアル

キャッシュレスモデル
舞鶴エリア、宮津エリア
舞鶴工業高等専門学校
京都職業能力開発短期大学校

「観光×ものづくり」、
「観光×農林水産業」、
「歴史・文化×ものづくり」により新産業を創出

「大学×ものづくり」によるイノベーションの
創造と人材育成
「半農半X」、「二地域居住」など多様なライフ
スタイルの実現

福知山公立大学
京都工芸繊維大学
(福知山キャンパス)
5G・I o T の高度無線環境整備による医療、教育、
子育て、災害情報等への活用



京都府総合計画

丹後地域振興計画

概要版

～安心して「元気」に住み続けることができ、
希望が持て夢が実現できる丹後地域～



※エリア構想

総合計画では、府内5つのエリアの主な
ハード整備を中心に、整備施設の特徴・効
果を生かすソフト施策も含めて「エリア構
想」として推進します。
なお、エリア構想では、4年を超える取
組も含めて記載しています。

発行 京都府丹後広域振興局
企画総務部 企画振興室

住所 京丹後市峰山町丹波855

電話 0772-62-4300

URL <http://www.pref.kyoto.jp/tango/ki-kikaku/14800003.html>

※丹後地域振興計画の本文はWEBでご覧いただけます。



京都府丹後広域振興局



丹後地域は、京都府の最北部に位置し、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町をエリアとし、面積は約845km²で府全体の約18%を占めています。

天橋立、伊根湾、経ヶ岬、夕日ヶ浦など、貴重な地質遺産を有するとともに、東側は丹後天橋立大江山国定公園、西側は山陰海岸国立公園に指定されています。

地域特性

歴史・文化

～歴史・文化のロマンあふれる丹後地域～

- ・日本海三大古墳をはじめとする古墳群が残され、「丹後王国」として繁栄したとされている。
- ・丹後七姫、浦島太郎、徐福など数多くの伝説や民話が存在

産業

～豊かな食、ものづくりの伝統・技術が息づく丹後地域～

- ・農林水産業、織物業、機械金属業などの産業が発展
- ・丹後産コシヒカリやブランド京野菜・果物、間人ガニや伊根ブリ、丹後とり貝など豊かな食の宝庫

人口

～健康長寿の丹後地域～

- ・人口は97,424人(H27)
- ・100歳以上の長寿者の比率が府平均の2倍

生活基盤

～関西・中京圏へのアクセス充実により発展をめざす丹後地域～

- ・京都縦貫自動車道や舞鶴若狭自動車道の全線開通、山陰近畿自動車道の京丹後大宮ICの開通により京阪神・中京圏へのアクセスが向上



豊かな水産ブランド
(丹後とり貝)



甘くてみずみずしい果物
(京たんご梨)

丹後地域振興計画の概要

【計画期間～令和6年3月】

【地域の将来像(概ね20年後に実現したい姿)】

～安心して「元気」に住み続けることができ、希望が持て夢が実現できる丹後地域～

- 「安心・安全な地域」
大規模自然災害等にも対応できる地域強靭化の取組が進み、誰もが安心して健康に生き生きと住み続けることができる「安心・安全な地域」
- 「稼げる地域」
観光、ものづくり等の地域産業や農林水産業などの基幹産業が更に発展するとともに、新たな産業が創造される「稼げる地域」
- 「誰もが活躍できる地域」
丹後に住み、関わる一人ひとりがそれぞれの力を発揮しながら地域産業やコミュニティを担う「誰もが活躍できる地域」

【基本的な視点】

施策の推進に当たっては、人権を尊重しながら府民個々の能力が発揮できるように、地域の特性を踏まえ「様々な主体との連携・協働・共創」の視点で実施します。

特に、丹後の強みである「豊かな食」、「ものづくりの伝統・技術」、「魅力あふれる歴史・文化」を生かし、各市町や関係団体などと連携しながら戦略的に取り組みます。

施策の基本方向(概ね4年間の対応方向)

(1)住み続けることができる安心・安全な地域づくり

- 地域産業の営みや人々の暮らしの下支えとなる、災害に強い安全な地域、安心して元気に住み続けられる地域づくりを推進
- ▶防災リーダー育成等による地域防災力の向上、河川改修、国道178号等道路整備・改修による地域の強靭化推進
- ▶京都府立医科大学附属北部医療センターを核とした地域医療体制の充実・強化
- ▶子育てに関する相談機関、支援団体等のネットワークづくりの推進
- ▶健康寿命延伸に向けた取組推進
- ▶管内市町水道施設の広域化支援
- ▶住民・学生ボランティア等と連携した阿蘇海等の持続的な環境改善
- ▶地域住民の移動手段を確保するため、関係機関と連携した取組推進



河川整備による強靭化
(加悦奥川)



大学生と連携した阿蘇海
環境改善の取組

(2)稼ぐ力の強化による産業振興

- 観光産業の振興を入口としながら、地域に根付く織物業や機械金属業等のものづくり産業や農林水産業などの基幹産業全体のさらなる発展に取り組み、稼げる地域づくりを推進
- ▶eバイクを活用した片道ライド等の新たな周遊観光の推進、ジオトレイン等体験型観光の推進
- ▶丹後ちりめん創業300年を契機とした丹後織物の新商品開発・新分野への展開を支援
- ▶丹後・知恵のものづくりパークを核とした織物業、機械金属業等のものづくり産業の支援
- ▶CAS冷凍やAI・ICT等を活用した丹後産野菜・フルーツ・水産物等の付加価値の創出
- ▶山陰近畿自動車道とアクセス道路等の整備促進
- ▶生活や産業を支える情報通信基盤の整備促進
- ※eバイク スポーツタイプの電動アシスト付き自転車
※CAS冷凍 食品の凍結融解に伴う食味の低下を大幅に低減することを可能にした冷凍技術



eバイクを活用した
新たな観光振興



丹後織物の高い技術を示すロゴ
'TANGO OPEN'

(3)地域を支える人材の確保・育成

- 稼ぐ力の源泉となる人材の確保・育成を進めることにより、さらに地域全体が活性化する好循環を実現するため、誰もが活躍できる地域づくりを推進
- ▶チーム丹後による地域とのマッチングや空き家改修支援などの総合的な移住支援の充実
- ▶外国人労働者等の受け入れに向けた生活サポート体制の整備
- ▶地域企業のニーズに応じた人材育成研修等による企業の技術力向上支援
- ▶地域に必要な人材確保のための二地域居住の推進等による関係人口の創出
- ▶シニア観光ガイド養成等の高齢者の活躍推進
- ▶大学生と地元の中高生などが連携した地域課題の解決と未来を担う人づくりの推進



総合的な移住支援
(移住セミナー)



未来を担う人づくり (地元
高校生のインターンシップ)